

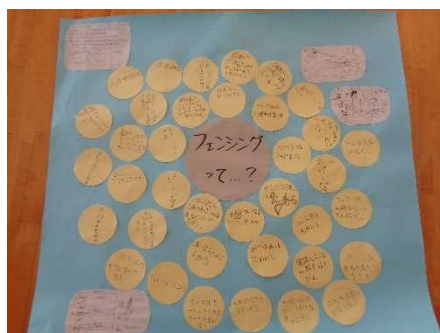
令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 つくばみらい市立谷原小学校 】

1 実践テーマ	I・V
2 実施対象者 (学年・人数)	全校児童 74名 教職員 13名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (総合的な学習の時間、道徳、国語)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<p>①オリンピックに出場した選手に話を聞くことで、いろいろな職業があることを知り、支え合い助け合っていくことの大切さを知ることができる。</p> <p>②オリンピックに出場した選手に話を聞くことで、目標に向かって頑張ることの大切さ、実現させるための努力について考えることができる。</p> <p>③オリンピックに出場した選手と交流する場での役割を果たすことで、児童の世界観を広げ、自己肯定感を高めることができる。</p>
5 取組内容	<p>1. 事前学習</p> <p>○児童の多くがフェンシングについて詳しく知らないという実態から、以下の項目についての調べ学習を行った。</p> <p>(1) フェンシングについて</p> <p>(2) 千田健太選手について</p> <p>(3) オリンピック種目について</p> <p>○調べ学習を行っていく中で、オリンピックでメダリストになった千田健太選手の努力や困難について考え、オリンピックへの興味や関心を高めた。</p>



2. 実践 12月15日(水)

13:30~14:15 講演

14:30~15:00 実演及び体験

○講演内容

- ・自己紹介
- ・フェンシングとの出会い
- ・北京オリンピックでの経験
- ・挫折経験から学んだこと
- ・ロンドンオリンピックでの経験
- ・伝えたいこと



○質疑応答

(サッカークラブに所属している男児より)

- ・「利き手を変更するのは大変だったか」
- ・「あまりおすすめはしない」との回答をいただいた。
自分のサッカー経験と重ねて考える様子が見られた。
- ・「試合で相手と戦うときに難しいことは何か」
- ・「一緒に練習をしていた仲間との戦いの際に難しさを感じた」と回答いただいた。
クラスにおける自分の立場に置き換えて考える様子が見られた。




○実演及び体験

- ・千田選手による、立ち方、動き方の実演
- ・参加者全員対象の、フェンシングの動き体験(千田選手のお手本)



○代表者によるフェンシングの試合体験



	<p>○6年生によるお礼の言葉 6年児童は、お礼の言葉のためにメモを取りながら話を聞き、原稿無しで堂々と感想を述べる事ができた。</p>  <p>3. 事後学習 ○講演や体験を受けての感想記入及び感謝の手紙を書く。 各学級で振り返りを行い、講演や体験から学んだことや今後に活かしていきたいことを思い浮かべて記入を行った。</p>
6 主な成果	<p>①千田選手の小学校の頃からの経験や仲間との関わりの話は、フェンシング経験の有無に関わらず、職業観や将来像を考える上で全児童に通ずる話であったため、児童は自分ごととして置き換えて考える事ができた。</p> <p>②千田選手の講演から、夢を追いかける上で大切なこと（今は今しかない、仲間を大切に、失敗は財産）について考える事ができた。今後の自己のキャリア形成につながる考え方を学ぶ事ができた。</p> <p>③実行委員会の児童が進行し、自信をもって取り組む事ができた経験から、児童の自己肯定感の向上に資する事ができた。 (児童の感想から)</p> <p>○私はすぐにあきらめてしまう性格だが、千田選手があきらめずに利き手を変更した話を聞いて、これからは勉強や運動に取り組むたいと思った。</p> <p>○強いあきらめない気持ちをもって、将来の夢に向かって頑張ることの大切さを学ぶ事ができた。</p> <p>○フェンシングは仲間と切磋琢磨することで、試合ではその仲間と本気で戦うことができると分かった。</p>
7 実践において工夫した点(事業の特色)	<p>○今回の講演会開催において、第6学年児童による実行委員会を組織し、児童主導によって実施した。</p> <p>○どの児童もフェンシングを経験したことがなく、児童にとってあまり馴染みのない競技だったということで、フェンシングについて知るという事前指導を充実させた。</p> <p>○千田健太選手の成功体験だけでなく、これまでの苦悩や困難に立ち向かった経験を聞くことができるということで、キャリア教育の一環に位置づけ、自己のキャリア形成と関連付けて学習を進めた。</p>
8 主な課題等	<p>○計画の段階で各校務分掌担当と連携を取っておくとよかった。より各教科の特質に応じた実践にすることができたのではないかと考える。</p> <p>○事業展開に見通しをもって、学年に応じた事前学習を計画的に進めていく必要がある。</p> <p>○フェンシングについての興味・関心は高まったが、夏の東京オリンピックに合わせてもっと他のオリンピック競技やパラリンピック競技、オリンピックの精神等に関心を向けさせることが必要だったと考える。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>○オリンピック競技だけではなく、パラリンピック競技に目を向けさせることによって、共生社会の実現や差別・偏見のない社会の実現、ハンディキャップを乗り越えることの大切さに目を向けさせていきたい。</p>